

町民の声

生活と防災を

主体的に

西古泉 はちきん母
松前町民となり五年。
両親や親戚の手助けがない中で、登下校を見守る地域の方々、熱心な岡田小中学校の先生方のおかげで、毎日の育児、家事、仕事に励むことができる。
しかし、道が狭くて離

合困難な場所が多いこと、災害に無関心な人が多いことで「生活しやすさ」とは言い難い。古泉駅前を通過しエミフルから想い通りへの抜け道は週末の交通量が激増する。

一時停止無視の車と、離合を譲らない車から暴言が飛ぶこともある。通学路、買い物、フィッティングの送迎に必要な私達の生活道路は、便利な抜け道として利用される。建設

中の道路が早急に完成すれば、災害時の緊急車両を円滑に走らせ、住民の危険を回避できる、と行政は予測しているだろうか。

一方、地震や風水害による備えを啓発するため地域で防災勉強会をするが、自分に被害はないと考えるのか参加者は多くない。

行政の方々！週末に一時間の抜け道調査をお勧めする。主体的に考えるスイッチが入るだろう。そして本気の防災活動は地域力となる。

町民の防災意識向上のため、行政と地域が主体的に何をすべきか。共に考える機会は得られないのだろうか。



傍聴席

『初めての傍聴』

上高柳 デカ○子
初めて傍聴席に座らせていただいた。まちづくり五つの公約の進展状況や幼児教育等への取組を知り、様々な思いが交錯した。

また、四人の議員さんが一般質問に立たれたが、議員さん方には、今後もアンテナを高く広く張り巡らせ、私たち住民の思いや願いをしつかり把握していただき、多方面から行政に働きかけて欲しいと思った。そして、よりよいまちづくりのために、行政の方々より一層力を合わせていきたいと思った。もちろん、一般住民としての私たちの在り方も考えさせられた。機会をとらえて再度傍聴し、知りたい聞きたい、学びたいという思いが膨らんだ。

『松前町・お宝開眼』
上高柳 山本 明
昨年の三月議会を傍聴し「松前町・観光維新」と題して投稿した。あれから一年「まさきーい」と「こ見つけ隊」の活躍。「はんぎり」のボランティアガイド養成。遂に、「観光マップ」が完成。喜ばしい限りではある。

エミフルを中心に、文化遺産巡りや、はだか麦おやつの食べ歩き等々。新設される「レンタルサイクル」で自由に楽しい観光を満喫できる町づくりに期待をよせる。
今回の提案は四十年前の昭和五十二年に発見され二ヶ月掛けて発掘された「出作遺跡」である。
昨年十一月の「文化財巡り」で出土物が展示され、見て興奮した次第。
近くの「宝剣田」では「石剣」が出土した。
その昔「支石墓」らしき物も存在していたとか？
これらを目玉に幅広く

「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。
次号議会だよりの掲載の締め切りは5月末です。
投書多数の場合は、委員会で掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず
名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会 「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を



展示。大々的に県内・外へ周知すれば、松前町は一躍有名になると思う。
「松前史談会会誌三十四号」に掲載されている。
設けて公開しています。本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。
また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。